

第34回 ICUS オープンレクチャーご案内

「未経験の復興状況を前提とした『復興準備』のあり方を考える 3」 ～「復興まちづくりイメージトレーニング」の到達点と今後の展開～

東京大学生産技術研究所

都市基盤安全工学国際研究センター

センター長 目黒 公郎

趣旨

災害による被害を完全に防ぐことは困難である。将来発生する災害に対し、速やかに復興まちづくりを進められるよう、予め対策する「復興準備」が必要である。また、時代、地域特性、災害状況が変われば、復興が目指すべき方向性や方法論も変わる。次の災害復興では、未経験の状況となることを前提とし、各地域がそれぞれの地域特性に即した適切な復興の方向性、方法論を議論しておくことが重要である。

ICUS では、これまで復興準備「復興まちづくりイメージトレーニング」をテーマに開催してきた。今回は、2015年5月、2016年5月に引き続く3回目である。「復興まちづくりイメージトレーニング」を今年度初めて実施した自治体、及び、「復興準備」を先駆的に取り組んでいる自治体を招き、経験の共有を行う。「復興まちづくりイメージトレーニング」の意義や効果、「復興準備」の取組みを普及・展開していくにあたっての課題、必要とされる新たな仕組み・方策について議論を深める。

日時	平成 29 年 2 月 24 日（金） 13:30～17:00（受付開始 13:00～）
入場料	無料 ※要申込み（定員 120 名 定員になり次第、調整させていただきます） ※終了後（17:10～）、意見交換会（会費 3,000 円）を予定しております
場所	東京大学 生産技術研究所 S 棟 1 階 ホール 〒153-8505 目黒区駒場 4-6-1 http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/access/campusmap.html

●駅からのアクセス



●構内案内図



「未経験の復興状況を前提とした『復興準備』のあり方を考える 3」

～「復興まちづくりイメージトレーニング」の到達点と今後の展開～

予定時刻	プログラム
13:00～	受付開始
13:30～	開会の挨拶
13:35～ (65分)	趣旨説明 未経験の復興状況を前提とした「復興準備」のあり方を考える (30分) 加藤 孝明 氏 (東京大学生産技術研究所准教授) 復興まちづくりイメージトレーニングの意義と課題 (30分) 中村 仁 氏 (芝浦工業大学システム理工学部教授)
14:40～	休憩 (10分)
14:50～ (50分)	今年度の復興まちづくりイメージトレーニング実施地区からの報告 《平成28年度 復興イメージトレーニング試行実施自治体》 神奈川県 海老名市 / 埼玉県 さいたま市 / 愛知県 春日井市 / 京都府 京都市 / 徳島県
15:40～ (75分)	円卓会議「復興まちづくりイメージトレーニングを通じた復興準備のあり方について」 コーディネーター：中村 仁 氏 (芝浦工業大学システム理工学部教授) ～参加者～ 加藤 孝明 氏 (東京大学生産技術研究所准教授) 平成28年度の実施自治体 先駆的自治体：埼玉県・茅ヶ崎市 (復興イメージトレーニングに関する取組の先進自治体) 東京都 (復興まちづくり模擬訓練など復興準備に関する取組の先進自治体) 国土交通省 都市局 都市安全課
16:50～	まとめ 加藤孝明 (東京大学生産技術研究所准教授)
16:55～	閉会の挨拶
17:10～	意見交換会

※参加者の都合により一部変更になる可能性もございます。予めご了承ください。

参加申し込み方法

参加を希望される方は、参加される方全員の

氏名／ご所属部署名／ご連絡先（お電話番号・メールアドレス）／意見交換会への出欠（会費3,000円）

を記載の上、下記アドレスまでメールをご送付ください。

参加申し込み送付先

icus-op@iis.u-tokyo.ac.jp

※席に限りがございますので、

お申込みはお早めをお願い致します。

《お申込み方法・開催内容

に関するお問い合わせ先》

事務局

(株式会社日本能率協会総合研究所

社会環境研究事業本部

地域安全まちづくり研究チーム)

担当 : 村木・原田・岸田

TEL : 03-3578-7515

E-mail : takahiro_muraki@jmar.co.jp